

# コンサートレポート

## 「上総シニアアンサンブル 第1回定期演奏会」 2018年12月9日(日)

暖冬傾向の中、久しぶりの12月らしい寒い日曜日になりました。

上総シニアアンサンブルは、2016年10月に発足して公民館でのコンサートや介護施設の訪問演奏などを経験して、初めて袖ヶ浦市民会館の大ホールで演奏会を開くことが出来ました。今まで100名規模の演奏会だったのを、600名収容できるホールで開催することになったので、一番心配したのはお客様が来て下さるかということでした。幸い満席とは行かないまでも、予想を越えたかなりのお客様にご来場頂きました。

第1部は、団のテーマ曲でもある「80日間世界一周」から始まり、袖ヶ浦市長から祝辞を頂いた後、「闘牛士のマンボ」など国内外のポップスと「ドナウ川のさざ波」などクラシックあわせて、7曲を演奏しました。

第2部は、賛助出演の女声コーラスグループ

第3部は12月でもあるので「もうすぐクリスマス」と銘打って、「クリスマス・イブ」、「クリスマスソングメドレー」などクリスマス関連の10曲を演奏しました。

今回の演奏会で、緊張した人、思いのほかリラックス出来た人、いつもできるのにミスしてしまった人、いつも以上に出来の良かった人様々ですが、共通していえることは、仲間と一つになって楽しめたことです。

指揮者の厳しい指導のもと、練習に励んだ結果でしょうか、準備段階での団員の頑張りや、団員の奥様である司会の方、快く引き受けて下さったスタッフの方々、会館の方の協力などで、第1回定期演奏会を成功裏に終えることができました。そしてなにより足を運んで下さったお客様に感謝いたします。 上総シニアアンサンブル 永野寛子



## 船橋SE 第4回定期演奏会

昨年10月27日(土)午後、船橋市民文化ホールで船橋SEの第4回定演が催された。



当団の過去3回の定演は1,000人収容の2階席の最後部に立見が出るほどの盛況であった。今回は立見はなかったがほぼ満席。これは団員の熱心なPR活動と指導指揮の脇田先生への、この定演のための特別な編曲と指導・・・例えば映画音楽メドレーやシャンソンメドレーなど、2年に1度の定演を目指しての熱心な練習成果をお客様が楽しみにしていることに他ならない。

28名の出演者の中でキーボードの5名は各々確かな腕前で、全体のサウンドを重厚に盛り上げている。今回はポールモリアやイタリアに関する7曲が中心であったが、イタリアの曲になった瞬間に各団員の譜面台の前に3色の布をグループ別に吊るして3色旗のムードを演出するなど、お客様を喜ばせた。

私はこの定演を最後に退団した。9年の間皆とよく飲み、騒ぎ、トラブリ、アンサンブルを楽しんだ。脇田先生はじめ団員の皆様ありがとうございました。益々のご隆栄を祈ります。(全シ連 岡村)